



ハイブリッド開催
(全県エリアカバー)
県内4会場+オンライン

プロジェクトチーム(PT)による運営
学校経営戦略推進課、義務教育指導課、個別最適な学び担当、高校教育指導課、特別支援教育課、生涯学習課、教育C、各教育事務所・支所、生涯学習C
☆学校教育&社会教育☆ ☆指導主事&社会教育主事☆

多様な受講者
学校関係者・行政関係者
地域ボランティア
学校運営協議会委員等

第1回(兼)理解促進研修 令和5年6月30日(金) 受講者150名

講義 地域学校協働活動コーディネーターに求められる役割と意義
学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進
演習 子供が抱える課題の理解(グループワーク)
学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に向けた熟議(グループワーク)

理解促進



主な講師
志々田まなみ氏



オリエンテーション(西部)



グループでの協議(芸北)



ワールド・カフェによる交流(東部)



全会場に向けた発表(北部)



多様な受講形態(オンライン)

【受講者の感想】

- 地域学校協働活動をはじめ、コミュニティ・スクールや学校運営協議会について、仕組みや内容を理解することができた。
- 地域、保護者、学校のそれぞれの立場で、当事者意識をもって課題解決に向けて取り組み、未来を担う子供たちを育てていきたい。

☆第1回のポイント☆

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みや制度、意義等の基礎的事項の理解！
- 子供たち抱える課題の理解と解決のための支援方法の提案・交流！
- 活動を充実させるためのファシリテーションや熟議の体験

第2回 令和5年8月29日(火) 受講者145名

講義 社会に開かれた教育課程の実現について
演習 活動プランづくり(グループワーク)
講義 個別最適な学び、子供の発達課題について

教育課程内の活動プラン



主な講師
取釜 宏行氏



地域や資源の分析(西部)



他会場との意見交流(芸北)



活動プランの検討(東部)



スタッフによる助言(北部)



活動プランの交流(オンライン)

【受講者の感想】

- 育てたい資質・能力を地域と学校で共通理解し、教育課程内に位置づけた活動プランを検討していくことの大切さが分かった。
- 地域や学校、行政の職種や立場による見え方や考え方の違いといった「違和感」を大切に、意見交流できたことに意義があった。

☆第2回のポイント☆

- 同校種かつ近隣地域の方でグループ編成！（実際の活動へのつながり！）
- 地域・学校・行政のそれぞれ視点からの意見やアイデアを理解！（「違和感」を大切に！）
- 教育課程に位置づけた活動プランの検討！
- 活動で関わる子供の特性や障がいの理解！

第3回 令和5年11月21日(火) 受講者123名

講義 学校運営協議会における教育課程の充実改善

演習 プロジェクト・マネジメント(ワークショップ)

講義 広島県が進める教育改革 一県立学校における取組を中心にー

年間の活動プラン



主な講師
竹原 和泉氏



グループワークの総評(西部)



活動内容の整理・分析(芸北)



ポイントと課題の発表(東部)



グループによる交流(北部)



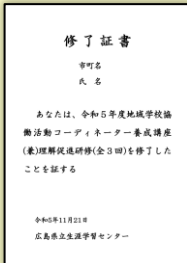
対面会場との交流(オンライン)

【受講者の感想】

- 「これまでの考え方をを変える」という新しい視点でCSの仕組を上手く活用し、情報共有しながら熟議や可視化を進めることの大切さを学んだ。
- 小中学校と高校では地域の捉え方や範囲が違いため、持続可能な連携・協働の在り方について講座や研修等でさらに学びたいと感じた。

☆第3回のポイント☆

- 小1～高3までの、12年間を見据えた活動プランのマネジメント！
- 地域・学校関係者と行政関係者に分けたグループ編成でそれぞれの視点からのマネジメント案の検討・交流！
- 義務教育段階と高校の取組のつながりの理解！



全3回受講者へ修了証の交付
理解度・活用度アンケート実施

各回の振り返りアンケート

【R6】フォローアップの実施(研修や支援等)

【R6】養成講座の継続実施(改善・充実)
(全3回・県内複数会場・PTによる運営)

地域学校協働活動コーディネーター養成講座運営担当者の感想



指導主事等
学校教育担当者



社会教育主事等
生涯学習・社会教育担当者



1 生涯学習・社会教育担当課 × 学校教育担当課の連携・協働について

- 複数の関係課によるPTでの運営は初めてであり、連携や協働の難しさもあったが、回数を重ねるごとに双方がもっているノウハウを共有・蓄積することができた。
- 事前アンケート等で、受講者の実態や特徴を丁寧に把握し、事前に関係課のスタッフ間で情報を共有できたことで、当日の運営がスムーズにできた。

- 県教育委員会事務局の7課(PT)が連携・協働して事業を運営したり各市町教委等を支援したりすることに大きな意義がある。
- 普段の業務では指導主事が地域の方に対して指導や助言を行う場面を見る機会がなかったため、声掛けの仕方やそのタイミング等、参考になった。

2 養成講座において、講義や演習支援を行う際に気付いたことや参考になったこと

- これまでに長期間にわたって、学校支援に携わっている地域の方がおられ、地域全体で子供たちを育てようとしている思いに感銘を受けた。
- 教職員が地域の方と共に講座や研修を受けることによって、発想が広がり、学校教育と社会教育の相乗効果が生まれ、よりよい活動プラン作りにつながった。

- 学校の教職員の方も「地域の方ともっと対話したい、関わり合いたい」と思っていることが、受講者の様子から伝わってきた。
- 教職員自らが居住地のコーディネーターとして活動することもあるので、地域の方と一緒に受ける講座や研修は双方にとって貴重な場となった。